

## G16Y モノのインタ - ネット [IoT] に特に適合される情報通信技術 [2020.01]

## 注

1. このサブクラスはモノがその内部状態またはその外部環境から情報を探知および収集することを可能にし、およびこれらのモノをインタ - ネットに直接的にまたは間接的に接続することを可能にする技術が組み込まれた物体 (“モノ”) の相互ネットワーク - キングを包含する。ここで情報はモノまたは他の機器、例 . サ - バ -, により処理され、モノ、他のモノまたは他の機器に出力される。

“インタ - ネットに直接的に接続する” とはモノがインタ - ネット上の通信に使われる、インタ - ネットアドレス空間のネットワーク - クアドレスを持つことを意味する。

“インタ - ネットに間接的に接続する” とはモノがプロキシデバイスに接続し、プロキシデバイスがインタ - ネットアドレス空間のネットワーク - クアドレスを持ち、モノの代わりにインタ - ネット上で通信することを意味する。

インタ - ネットアドレス空間のネットワーク - クアドレスはインタ - ネットのデバイスを固有に識別するアドレスである。

2. このサブクラスは以下のものを包含しない:

単なる監視、例 . 監視カメラ、または単なる制御、例 . 遠隔制御装置

汎用の計算機および通信機器、例 . コンピュ - タまたは電話機

3. このサブクラスは、このサブクラスの分類記号と他のサブクラスからの分類記号とを組み合わせることにより、IoT に関連する主題事項の補完的なサ - チを可能とすることを意図している。したがって、このサブクラスは、IPC の他の場所にも完全にまたは部分的に包含されているかもしれない IoT (例 . 検出またはナビゲ - ション) の特徴を包含する。

4. このサブクラスは、主題事項が他の分類箇所において既にそれ自体として分類されており、IoT の観点を含むときに、その主題事項を義務的に補足的に分類するためのものである。

5. このサブクラスの分類記号は、特許文献に付与されるとき、先頭には掲載されない。

6. このサブクラスが導入された時点では体系的な再分類はなされていない。このサブクラスの分類記号を用いてサ - チを行う場合は、2020 年より前に公表された多くの文書がサブクラス G16Y に分類されていないことに注意すべきである。

10/00	業種 [2020.01]
10/05	・農業 [2020.01]
10/10	・林業 [2020.01]
10/15	・漁業 [2020.01]
10/20	・鉱業 [2020.01]
10/25	・製造業 [2020.01]
10/30	・建設業 [2020.01]
10/35	・公益事業、例 . 電気、ガスまたは水 [2020.01]
10/40	・運輸、交通 [2020.01]
10/45	・商業 [2020.01]
10/50	・金融 ; 保険 [2020.01]
10/55	・教育 [2020.01]
10/60	・健康 ; 福祉 [2020.01]
10/65	・エンタ - テインメントまたは娯楽 ; スポ - ツ [2020.01]
10/70	・放送 [2020.01]
10/75	・情報技術 ; 通信 [2020.01]
10/80	・ホ - ム ; 建物 [2020.01]
10/90	・化学 [2020.01]
20/00	モノにより探知または収集された情報 [2020.01]
20/10	・環境に関するもの、例 . 温度 ; 場所に関連するもの [2020.01]

20/20	・モノそれ自体に関するもの [2020.01]
20/30	・資源に関するもの、例 . 消費電力 [2020.01]
20/40	・個人情報に関するもの、例 . 生体情報、記録または嗜好 [2020.01]
30/00	IoT インフラストラクチャ [2020.01]
30/10	・その安全性 [2020.01]
40/00	情報処理の目的に特徴がある IoT [2020.01]
40/10	・検知 ; 監視 [2020.01]
40/20	・分析 ; 診断 [2020.01]
40/30	・制御 [2020.01]
40/35	・モノの管理、すなわちポリシ - に従ったまたは特定の目的を達成するための制御 [2020.01]
40/40	・モノの保守 [2020.01]
40/50	・安全 ; モノ、使用者、デ - タまたはシステムの安全性 [2020.01]
40/60	・位置決め ; ナビゲ - ション [2020.01]

